【山崎名誉主宰の俳句】

おろおろ

山崎　聰

雨空のいちにち長く残る虫

いわし雲どこからも人湧いて出て

秋の長雨無用の用かとも思い

阿Q正伝おろおろと残り柿

いわし雲無頼というはさびしかり

晴れつづくいっせいに柿色づいて

風の日はひたすらねむり青榠樝

もののふはいまもののふ残り月

亡きものは亡く季節はずれのさくら

いま無一物真夜中のスキー場